

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
コムラサキ	タテハチョウ科	紫色の幻光	x	△	x	全国



長野県南佐久郡 8月2日 (2003年) ミネラル補給



長野県 7月下旬 全翅輝く



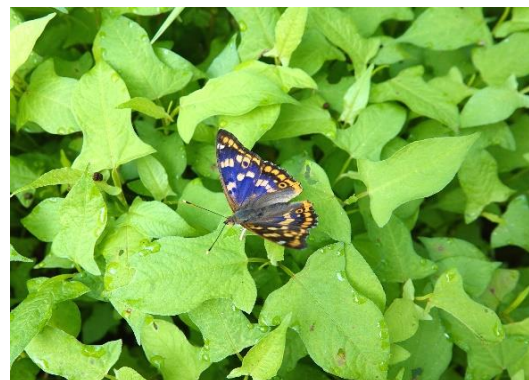
神奈川県 11月中旬 多摩川

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹						発生回数/年			越冬形態		
ヤナギ類						3~4			幼虫		

国蝶のオオムラサキを意識してのしられた命名と推測できますが、オスの翅の表は見る角度によって南方系の蝶のような怪しげな紫の幻光を發します。柳が多い河原などでは無数に飛ぶコムラサキの幻光に囲まれ呆然とすることがありますが河原の発生地以外ではいずれもそれほど個体数が多い蝶ではありません。地域によりクロコムラサキと呼ばれる黒化型で珍重されるタイプが一定比率で見られます。



山梨県 8月上旬 クヌギの樹液



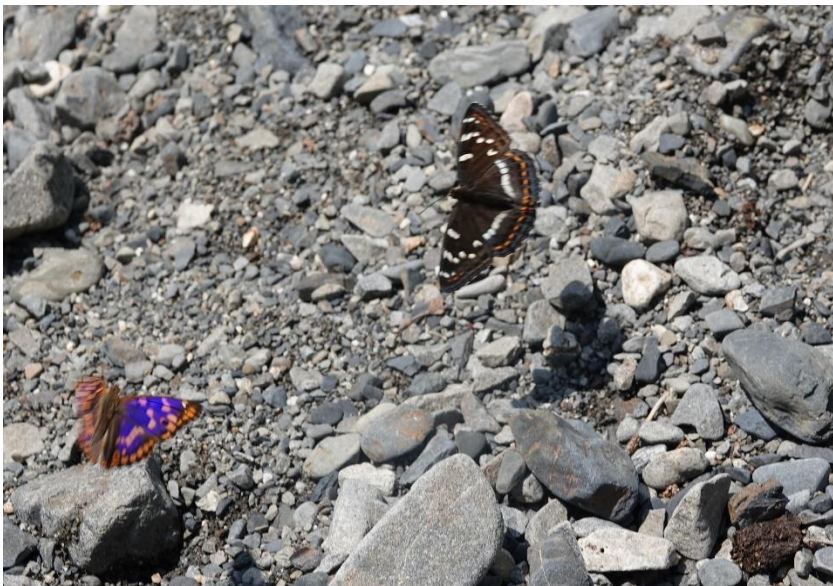
埼玉県 5月末 湿地のミゾソバ葉上





長野県 梓川  
7月19日 (2021年)

集団ミネラル補給



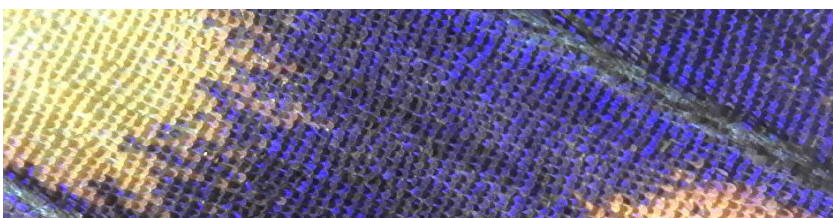
長野県 梓川  
7月19日 (2021年)

オオイチモンジ飛来



長野県 梓川  
7月19日 (2021年)

オオイチモンジとともに獣糞  
に集まる



鱗粉の配列





長野県 梓川 7月19日 (2021年) 河原を飛ぶ 4枚とも紫の幻光を発するタイミングは稀少



長野県 梓川 7月22日 (2022年) ミネラル補給